

Newsletter

発行所：国立大学法人秋田大学男女共同参画推進室
〒010-8502 秋田市手形学園町1-1
電話：018-889-2260
<http://www.akita-u.ac.jp/coloconi/>

第1回 coloconi talking

「女子大学院生ロールモデル紹介」を開催しました！

平成23年10月27日（木）男女共同参画推進室コロコニでは、次世代女性研究者育成のための取り組みの一環として、第1回コロコニトーク「女子大学院生ロールモデル紹介」を開催しました。

このイベントの目的は工学資源学部在籍する女子学生が、大学院工学資源学研究所に在籍する女子大学院生から直に話を聞くことにより、大学院に興味を持ってもらい、さらに大学院への理解を深めてもらうことで、大学院進学者（希望者）を増加させ、女性研究者の裾野の拡大を目指すものです。



* スピーカーの皆さんのご紹介 *

環境物質工学専攻 2年 鈴木 真希（すずき まき）さん

研究内容「分岐点間距離を制御した分岐ポリ乳酸の合成と特性」
生分解性高分子のポリ乳酸に関する研究を行っています。ポリ乳酸の分子は1本の鎖のように繋がっているが、この鎖に枝分かれ構造を導入して物性がどのように変化するかを解析しています。

機械工学専攻 2年 波田野 璃布（はたの りふ）さん

研究内容「誘導場による書体の評価」
誘導場という概念を用いて感性の評価を行っています。今回は、書道の書体を対象にしています。書道の上手な人とそうでない人に文字を書いてもらい、その画像を分析し、考察しています。

環境物質工学専攻 2年 畠田 志帆（あいだ しほ）さん

研究内容「八郎湖高濃度リン湧出の起源に関する研究」
秋田県男鹿半島に位置する八郎湖の水質浄化について研究しています。水質悪化の原因として高濃度リン湧出水が一因とされており、その起源について調査しています。

材料工学専攻 2年 橋本 林那（はしもと りんな）さん

研究内容「通電加圧焼結によるTiC-SiCセラミックスの合成とその機械的性質」
本研究では、WC-Co超硬合金に代替できるような材料を開発するために、他の資源的制約の少ない高硬度物質TiCとSiCとTiSi₂粉末を用い、TiCとSiCを緻密に焼結させることを試みました。

機械工学専攻 2年 近藤 亜希子（こんどう あきこ）さん

研究内容「慣性センサを用いた3次元姿勢計測に関する研究」
運動中の姿勢計測法について研究しています。センサを単体で用いると生じるさまざまな誤差を、ジャイロセンサや加速度センサなど複数のセンサを用いて補正しています。

★ スピーカーの皆さんに色々聞いてみました ★

Q. どうして大学院に進学したのですか？

私が進学したのは就職するには大学院に行った方が有利だと感じたからです。4年生の時に就職活動をしていましたが、私に興味がある技術職や、研究職は、学部生だと応募できる職種に制限があって、私がやりたい仕事はほとんどが大学院卒でした。やはり将来は自分の希望する職につきたいと考えていたので、大学院進学を決めました。

Q. 大学院に進学して良かったことは何ですか？

時間が自由に使えるというのが良かったことだと思います。4年生でやらせてもらった研究というのは受け身な感じでしたが、大学院の研究だと自分が主体になって進めたり、M1の時には4年生に教えたりするので、自分自身さらに研究内容の理解を深める事が出来ました。また、就職に有利になったり、学部生より優先的に推薦を使うことが出来ました。

Q. 学部の時とは違う研究室に入ったのはどうしてですか？

私は4年生の時は別の生物系に近い研究室に配属されていましたが、もっと環境に近いことをやりたい、もっといろいろなことを学びたいと思いました。そして自分の希望する大学院の研究室が決まったのでそちらに進学を決めました。また私の場合、友達がずっと一緒でしたので、そのまますぐ研究にすんなり入って行きました。

Q. 就職活動（面接）はどうでしたか？

私は学校の推薦で受かりました。就職先は自動車部品、主にエンジン周りの部品を作る会社です。自動車技術の進歩と共にそれを構成するパーツもより高品質で高性能であることが求められると思うので、そこに材料工学で学んでいる材料基礎知識が活かせると考えています。面接では、常に明るく積極的な雰囲気をだし、聞かれたことだけでなくプラスアルファの答えを返すように意識しました。

Q. どうして秋田大学の博士後期課程の進学を希望したのですか？

実を言うと私も最初は就職活動をしていました。将来的には教員になりたいと考えていましたが、やはり後期課程になると進む人も少ないし、論文や博士号の事など考えると茨の道だと思いなかなか踏み切りがつきませんでした。しかし内定を頂いた後、本当にこれでいいのかとても悩み、やはり自分がやりたい道へ進んだ方がいいのではないかと考え直し、進学しようと決めました。

学部生の皆さんへのメッセージ

大学3年生になると進学か就職かで迷うと思いますが、私は進学をお勧めします。大学院では学部のときに経験できなかったことがたくさんできます。ぜひ、大学院に進学していろいろなことを経験してください。

修士へ進むことは、決して回り道ではありません。どれだけ成長するかは自分次第ですが、専門知識はもちろん、考える力、まとめる力など人生に必要な不可欠な力も身につくとおもいます。就職の幅も広がりますよ！

大学院に行くことを決意するのは勇気のいることかもしれませんが、社会に出ていくにあたってきっと大学院に進学したことが役立つと思います。今後、女子大学院生が増え、研究者として活躍してくれたらと思います。

私は大学院へ入って本当によかったと思っています。やりたい研究もできたり、就職するうえで専門を活かせる職に就くことができるとおもいます。学部生の皆さんも、一緒に大学院で頑張っていきましょう！

大学院の2年間は自分の好きなこと、興味のあることにチャレンジできるいいチャンスだと思います。勉強だけでなくいろんなことを楽しみながら女性研究者を目指しましょう！



編集後記

今回のコロコニトークングでは、私たち職員が同じキャンパス内にいるのに、あまり話す機会の少ない工学資源学研究所の女子大学院生達から現在の研究内容や生活、今後の進路などについて貴重なお話を聞くことができました。また、このイベントを開催するにあたり、お忙しい中ご尽力頂きました先生方及び女子大学院生のスピーカーの皆様にご協力いただき御礼を申し上げます。ありがとうございました。(黒田)

